

平成31年1月22日
県民交流課広報広聴室 池田
内線 3812
外線 225-1362

平成31年石川県広報コンクールの審査結果について

県では県内市町の広報活動向上を目的に「石川県広報コンクール」を開催しており、この度、応募作品の審査を行った結果、下記のとおり入賞作品を決定しましたのでお知らせします。

1 審査結果

部 門		最優秀賞	優秀賞
広報紙	市の部	広報こまつ 11月号	広報かが 10月号
	町の部	広報のと 11月号	—
広報写真	一枚写真部	広報すず 3月号(表紙)	広報のと 8月号(表紙)
	組み写真部	広報あなみず 12月号(P4~5)	広報ななお「七尾ごころ」9月号(P6~7)
映 像		「東京2023加賀【加賀市新幹線対策室】 Season2~Full Ver~」(加賀市)	「救急車の適正利用に向けて」 (小松市)
			「いつまでも人生の主演」(野々市市)

2 応募作品数

部 門		H31年応募	参考(H30年応募)
広報紙	市の部	7作品	8作品
	町の部	2作品	3作品
広報写真	一枚写真部	13作品	13作品
	組み写真部	9作品	8作品
映 像		4作品	3作品

3 審査会の概要

- (1) 日 時 平成31年1月18日(金) 於：石川県庁
- (2) 審査員
- ・ 出版プランナー おくひら 奥平 三之
 - ・ コピーライター みやぼ 宮保 真
 - ・ アートディレクター やなぎやち 柳谷内 正志
 - ・ 県広報広聴室長 玉屋 匡康

- 4 その他
- ・ 各部門の最優秀賞作品は、(公社)日本広報協会が主催する全国広報コンクールに推薦する。

参 考 <審査員の講評(最優秀作品)>

1 広報紙部門

① 市の部「広報こまつ 11月号」

- ・特集タイトル、特集全体の構成、誌面デザインなど総合的に良い。特に構成の面では、データやサミット紹介、先輩・保護者・アドバイザーといった立場の異なる人のコメントといった多面的にテーマを掘り下げており大変良い。
- ・中学生のスマホ特集がとても良く出来ていて読みやすい。決算、職員の給与なども明確で分かりやすい。
- ・表紙から特集への繋がりが入りやすい。

② 町の部「広報のと 11月号」

- ・テーマの新鮮さが良い。活動内容、部員と先生の声もよく整理されている。
- ・最初の写真から全体概要、書道パフォーマンスについての詳しい紹介、部員・顧問のコメント、さらなる支援が必要な理由の説明に加え、最後を1ページの写真での締めるなど、特集の構成が素晴らしい。

2 広報写真部門

① 一枚写真部「広報すず 3月号(表紙)」

- ・マスクで半分隠れているにも関わらず伝わってくる男性の表情が良い。
- ・写真がフツーに良いのだが、コピーの「おっ！」がどハマリしていて写真の良さを引き上げている。

② 組み写真部「広報あなみず 12月号(4~5ページ)」

- ・キャプションをまとめて置いたことが、誌面を清潔にしている。写真の質も一枚一枚の完成度が高く、気持ちに届く表現力が感じられる。
- ・1枚1枚の写真が良く、全体としてバラエティに富んでいて、完成度の高い見開き誌面になっている。
- ・イベントへの取り組み方が伝わってくる。撮り方が工夫されている。

3 映像部門

「東京2023加賀【加賀市新幹線対策室】Season2~Full Ver~」(加賀市)

- ・「話題となるために」という狙いがストレートであり、そう出来ている。
- ・広報というよりは広告として広く加賀市の認知度を広めた点は優れた功績。
- ・おそらく主演2人以外は全員素人なのに、ここまで見られるようにまとめた技量はお見事。

※ 受賞作品については、広報広聴室にて閲覧することができます。